

岡山県感染症週報 2015年 第34週 (8月17日～8月23日)

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』発令中です。

◆2015年 第34週 (8/17～8/23) の感染症発生動向 (届出数)

■全数把握感染症の発生状況

- 第33週 5類感染症 急性脳炎 1名 (幼児 女)
 第34週 2類感染症 結核 2名 (70代 男 1名、80代 男 1名)
 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2名 (O157:80代 女)
 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1名 (70代 女)

■定点把握感染症の発生状況

- 手足口病は、県全体で224名 (定点あたり3.59 → 4.15人) の報告があり、前週より増加しました。
 ○ヘルパンギーナは、県全体で73名 (定点あたり1.59 → 1.35人) の報告があり、前週より減少しました。
 ○伝染性紅斑は、県全体で20名 (定点あたり0.13 → 0.37人) の報告があり、前週より大きく増加しました。
 ○流行性角結膜炎は、県全体で25名 (定点あたり0.75 → 2.08人) の報告があり、前週より大きく増加しました。

【第35週 速報】

- 腸管出血性大腸菌感染症 3名 (O157:幼児 女 1名、小学生 男 1名、20代 男 1名) の発生がありました。(8月27日)

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、第34週に2名の報告があり、岡山県の2015年第34週 (～8/23) までの累計報告数が、34名となりました。岡山県は、8月6日「**腸管出血性大腸菌感染症注意報**」を県下全域に発令し、注意喚起を図っています。8月上旬、倉敷市の養護老人ホームにおいて、O157による集団感染が発生し、また全国でも集団感染事例が報告されています。手洗いなどを徹底するとともに食品は冷蔵庫で保存し、調理後はできるだけ速やかに食べる、食肉、特にハンバーグなどは中心部まで火を通すなど感染予防に努めましょう。詳しくは、岡山県感染症情報センターホームページ『**腸管出血性大腸菌感染症注意報 発令中!**』をご覧ください。
2. **手足口病**は、県全体で224名 (定点あたり3.59 → 4.15人) の報告があり、前週より増加しました。岡山市、倉敷市、備北地域では、ひきつづき発生レベル3となっています。詳しくは「**今週の注目感染症**」をご覧ください。
3. **ヘルパンギーナ**は、県全体で73名 (定点あたり1.59 → 1.35人) の報告があり、3週連続で減少しました。地域別では、倉敷市 (2.27人)、岡山市 (2.14人)、備中地域 (1.00人) の順で定点あたり報告数が多くなっています。患者報告数は減少傾向にありますが、例年9月頃まで発生がみられますので、今後も県内の状況に注意するとともに、うがいや手洗いを励行するなど感染予防に努めましょう。
4. **伝染性紅斑**は、県全体で20名 (定点あたり0.13 → 0.37人) の報告があり、前週より大きく増加しました。岡山市と倉敷市で発生報告がありましたが、特に岡山市 (0.43 → 1.29人) で、定点あたり報告数が前週より大きく増加しています。この感染症は、両頬がりんごのように赤くなることから、「りんご病」とも呼ばれています。頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や咳などの風邪の様な症状がみられることがあり、この時期にウイルスの排出量が最も多くなります。ウイルス排出期には特徴的な症状を示さないため、効果的な二次感染予防は困難です。しかし、妊娠中 (特に妊娠初期) に感染した場合、胎児異常 (胎児水腫) や流産の危険があるため、妊娠中の方は伝染性紅斑が周囲で流行している時、風邪の症状がある人に出来るだけ近づかないよう注意が必要です。
5. **流行性角結膜炎**は、県全体で25名 (定点あたり0.75 → 2.08人) の報告があり、前週より大きく増加しました。県全体の報告数の半分以上を、備前地域 (定点あたり13.00人) が占めています。この感染症は、アデノウイルスによる眼の感染症で、8～14日の潜伏期間の後、まぶたの浮腫、結膜の充血、眼ヤニ、流涙、眼痛などの症状を呈します。有効な薬剤はなく、対症療法による治療が行なわれます。このウイルスは、とても感染力が強く、人と接触する機会の多い家庭や職場、病院などで流行します。感染した際には、眼を触らないよう気を付け、触ったら石鹸と流水でよく手を洗う、タオルや洗面器などの共用は避ける、家族内での入浴は最後にするなど、感染予防に努めましょう。この感染症は、季節的には夏に多く発生し、幅広い年齢層にみられますので、今後も県内の発生状況に注意しましょう。

流行の推移と発生状況

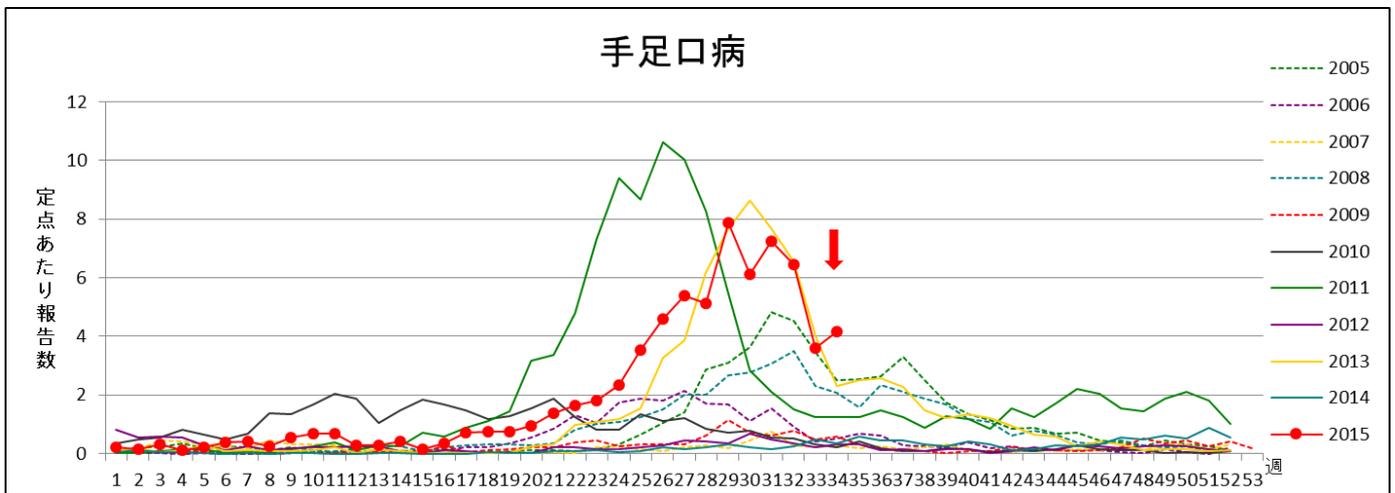
疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ	➡		RSウイルス感染症	⬆️	★★
咽頭結膜熱	⬆️	★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	⬆️	★
感染性胃腸炎	⬆️	★	水痘	⬇️	★
手足口病	⬆️	★★★	伝染性紅斑	⬆️	★★★★★
突発性発疹	⬆️	★	百日咳	➡	★★
ヘルパンギーナ	⬆️	★★	流行性耳下腺炎	⬆️	★★
急性出血性結膜炎	➡		流行性角結膜炎	⬆️	★★★★
細菌性髄膜炎	➡		無菌性髄膜炎	➡	
マイコプラズマ肺炎	➡		クラミジア肺炎	➡	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	* 感染性胃腸炎(ロタウイルス)については、2013年第42週から報告対象となったため、前週からの推移のみ表示しています。			

【記号の説明】 前週からの推移：
 ⬇️ : 2倍以上の減少 ⬇️ : 1.1~2倍未満の減少 ➡ : 1.1未満の増減
 ⬆️ : 1.1~2倍未満の増加 ⬆️ : 2倍以上の増加
 発生状況：今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。
 空白:発生なし ★: 僅か ★★: 少し ★★★: やや多い ★★★★: 多い ★★★★★: 非常に多い

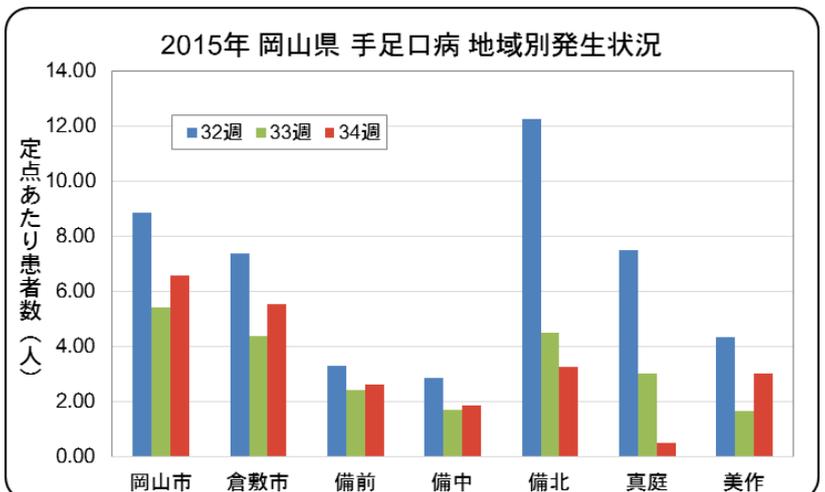
今週の注目感染症

手足口病

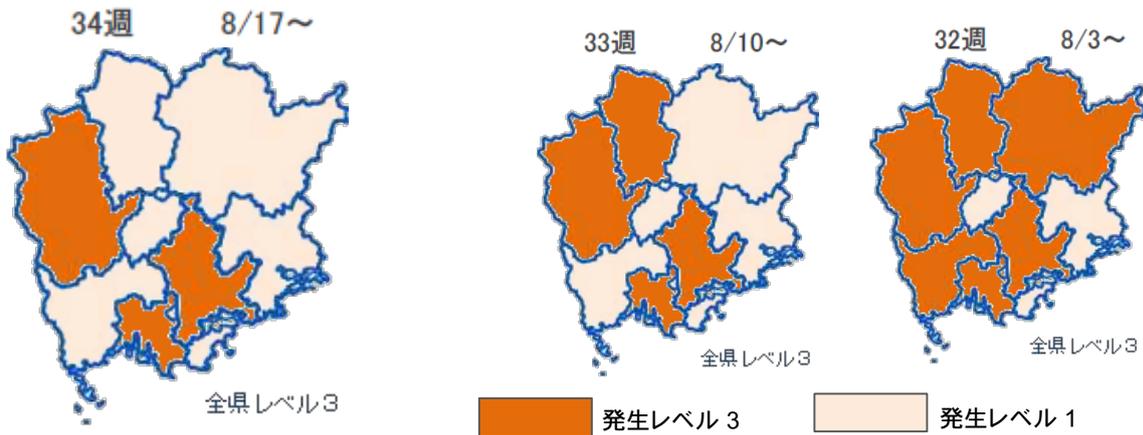
【岡山県の発生状況】



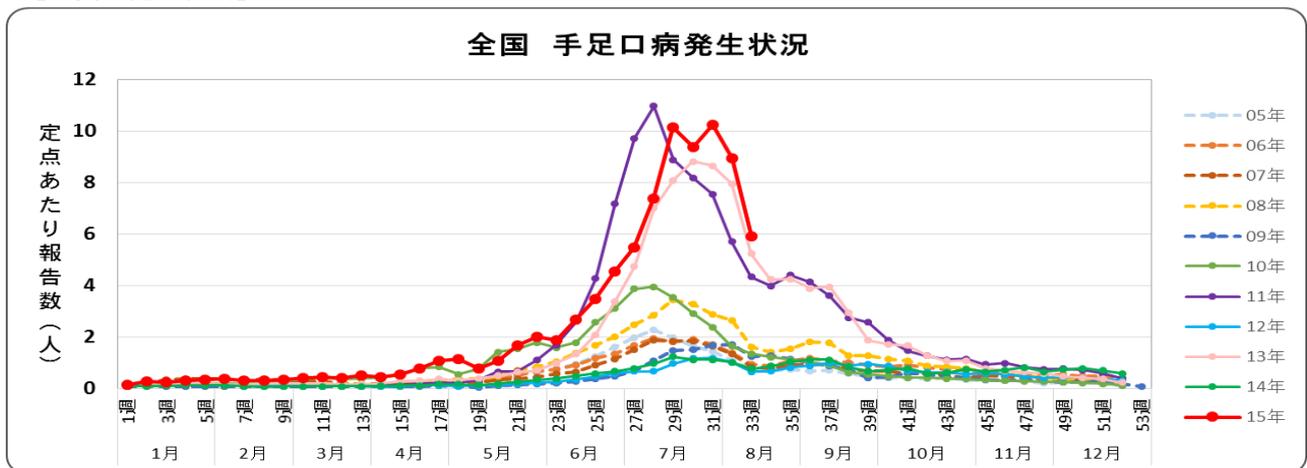
手足口病は、県全体で224名（定点あたり3.59 → 4.15人）の報告がありました。患者報告数は、第32週から大きく減少していましたが、3週ぶりの増加となりました。地域別では、岡山市（6.57人）、倉敷市（5.55人）、備北地域（3.25人）の順で定点あたり報告数が多くなっており、発生レベル3が継続しています。流行のピークは過ぎたと思われませんが、依然として多くの患者が報告されています。ひきつづき県内の発生状況に注意するとともに、患者との濃厚な接触を避け、うがいや手洗い・手指の消毒を励行するなど感染予防に努めましょう。



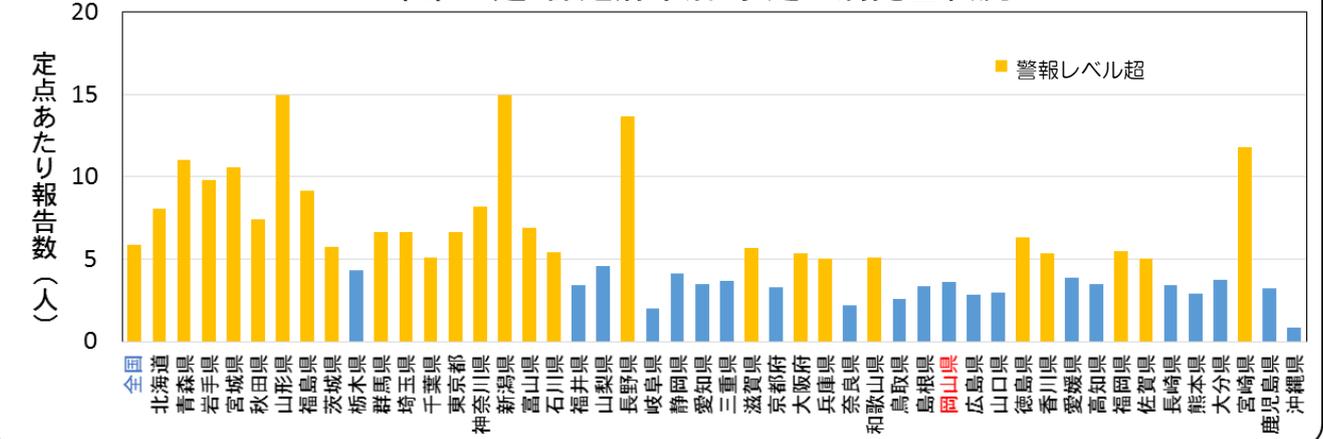
岡山県地区別 手足口病感染症マップ



【全国の発生状況】



2015年第33週 都道府県別 手足口病発生状況



全国の第33週の発生状況は、定点あたり5.90人であり、2週連続で減少しました。報告数は減少したものの、過去10年間の同時期と比較して最も多い状態です。都道府県別では、定点あたり報告数の多い順に、山形県（14.96人）、新潟県（14.93人）、長野県（13.66人）と東日本が上位を占めており、26都道府県で警報レベルを超える流行となっています。

2015年8月21日までに報告された全国の手足口病患者からの検出ウイルスは、コクサッキーウイルスA16型（50.6%）が最も多く、次いでコクサッキーウイルスA6型（28.6%）となっています。

[IDWR 速報データ 2015年第33週（国立感染症研究所）](#)

[IASR 病原微生物検出情報（国立感染症研究所）](#)

[IDWR2015年第30号 注目すべき感染症「手足口病」（国立感染症研究所）](#)

保健所別報告患者数（定点把握）2015年 34週

（2015/08/17～2015/08/23）

2015年8月27日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	14	0.26	2	0.14	10	0.91	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	18	0.33	15	1.07	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	0.80	9	0.64	25	2.27	2	0.20	2	0.29	1	0.25	-	-	4	0.67
感染性胃腸炎	255	4.72	55	3.93	44	4.00	76	7.60	13	1.86	24	6.00	11	5.50	32	5.33
水痘	5	0.09	2	0.14	2	0.18	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	224	4.15	92	6.57	61	5.55	26	2.60	13	1.86	13	3.25	1	0.50	18	3.00
伝染性紅斑	20	0.37	18	1.29	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	28	0.52	15	1.07	5	0.45	2	0.20	3	0.43	2	0.50	-	-	1	0.17
百日咳	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	73	1.35	30	2.14	25	2.27	3	0.30	7	1.00	3	0.75	-	-	5	0.83
流行性耳下腺炎	27	0.50	1	0.07	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	4	2.00	19	3.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	25	2.08	5	1.00	7	1.75	13	13.00	-	-	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0 or 0.00) (空白 : 定点なし)

保健所別報告患者数（発生レベル設定疾患）2015年 34週

（2015/08/17～2015/08/23）

2015年8月27日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	18	0.33	15	1.07	-	-	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.17
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	0.80	9	0.64	25	2.27	2	0.20	2	0.29	1	0.25	-	-	4	0.67
感染性胃腸炎	255	4.72	55	3.93	44	4.00	76	7.60	13	1.86	24	6.00	11	5.50	32	5.33
水痘	5	0.09	2	0.14	2	0.18	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	224	4.15	92	6.57	61	5.55	26	2.60	13	1.86	13	3.25	1	0.50	18	3.00
伝染性紅斑	20	0.37	18	1.29	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	73	1.35	30	2.14	25	2.27	3	0.30	7	1.00	3	0.75	-	-	5	0.83
流行性耳下腺炎	27	0.50	1	0.07	2	0.18	-	-	1	0.14	-	-	4	2.00	19	3.17
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	25	2.08	5	1.00	7	1.75	13	13.00	-	-	-	-	-	-	-	-

濃黄セルに赤数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル3
薄黄セルに黒数字は岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2

を示しています。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (2015年 第34週 2015/08/17~2015/08/23)

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~	
RSウイルス感染症	14	3	3	4	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	18	-	-	3	3	3	2	4	1	1	1	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	-	-	-	4	6	8	7	4	5	3	1	4	-	1
感染性胃腸炎	255	4	21	40	23	19	21	20	16	7	11	8	25	6	34
水痘	5	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	1	-	-
手足口病	224	3	21	86	35	21	19	11	9	6	3	-	4	-	6
伝染性紅斑	20	-	1	-	1	5	3	3	4	3	-	-	-	-	-
突発性発疹	28	1	9	11	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	73	1	4	22	10	7	8	7	5	3	2	1	2	-	1
流行性耳下腺炎	27	-	-	1	-	4	5	5	3	3	3	-	1	1	1

疾病名	合計	-6ヶ月-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	25	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	3	4	4	2	2	1

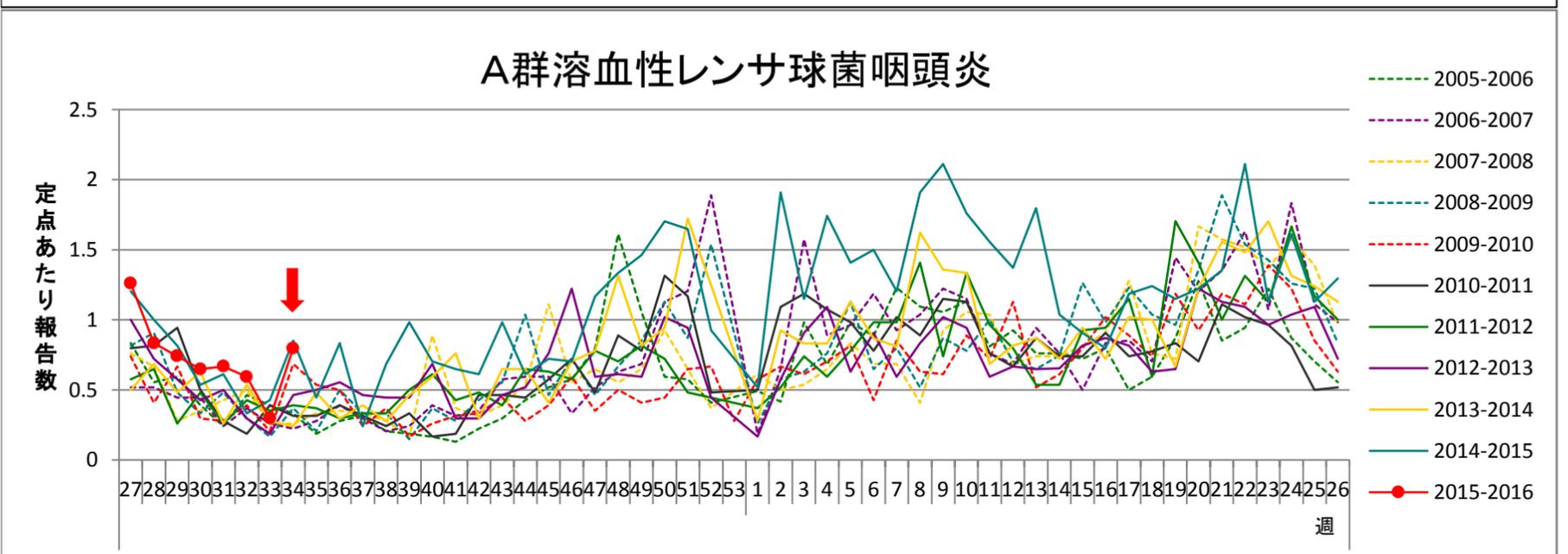
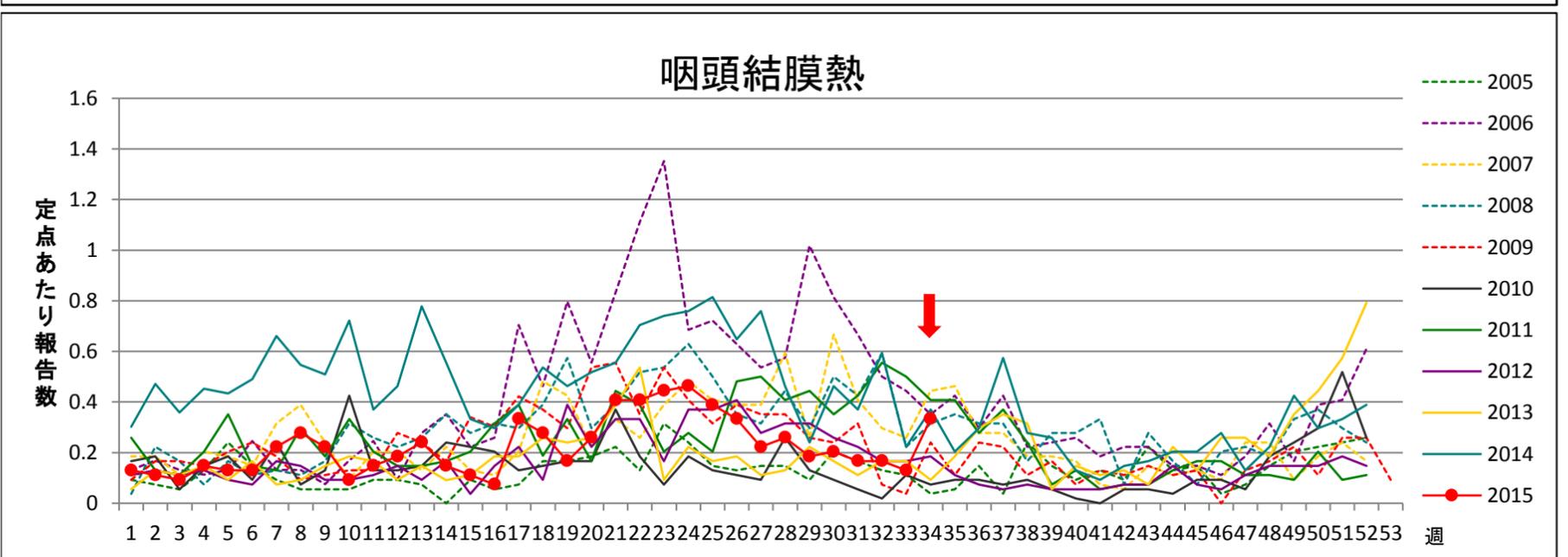
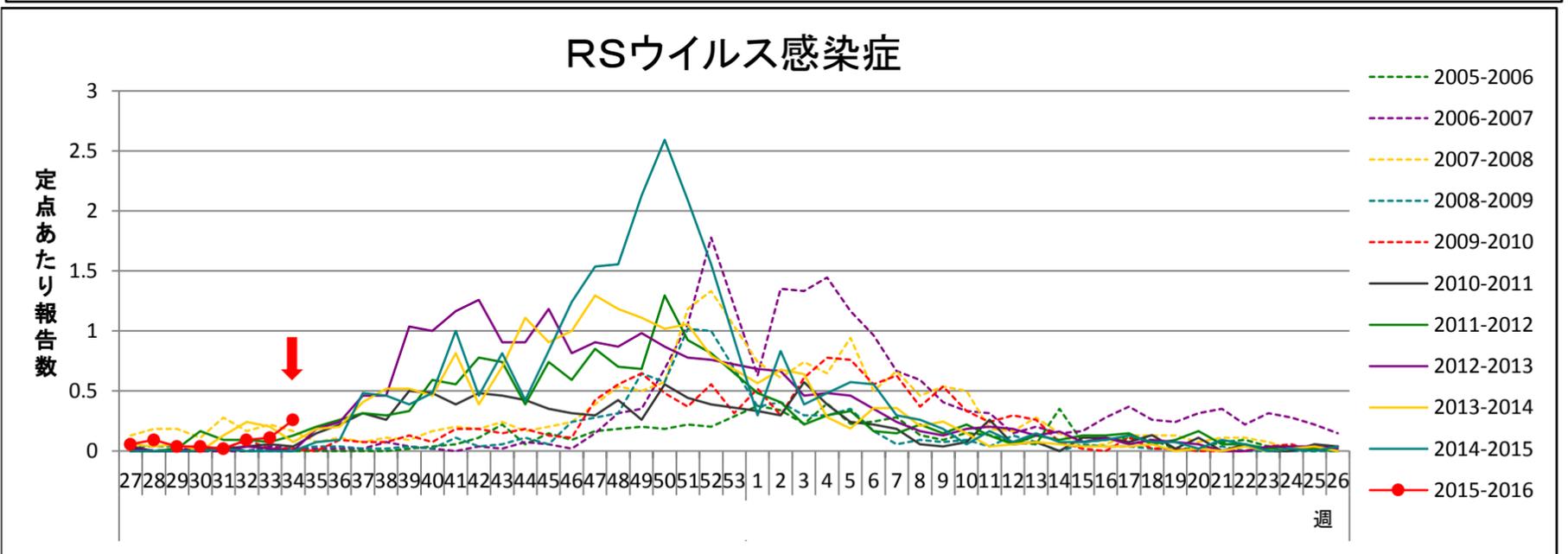
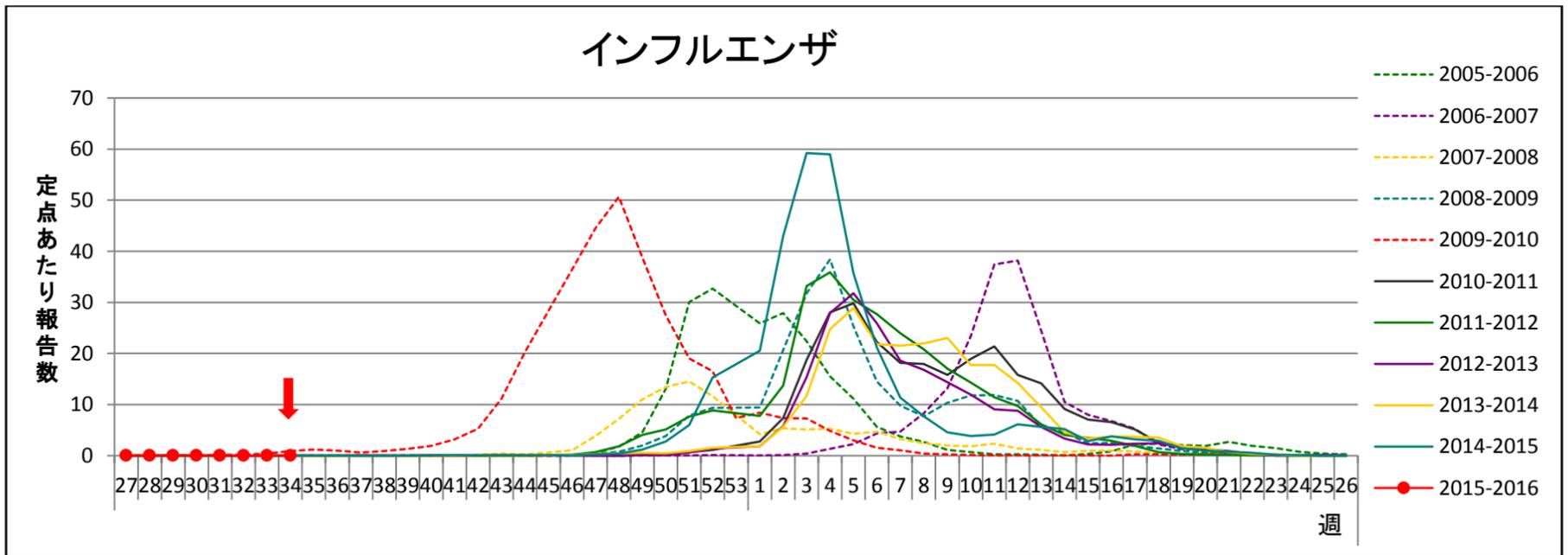
疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(- : 0)

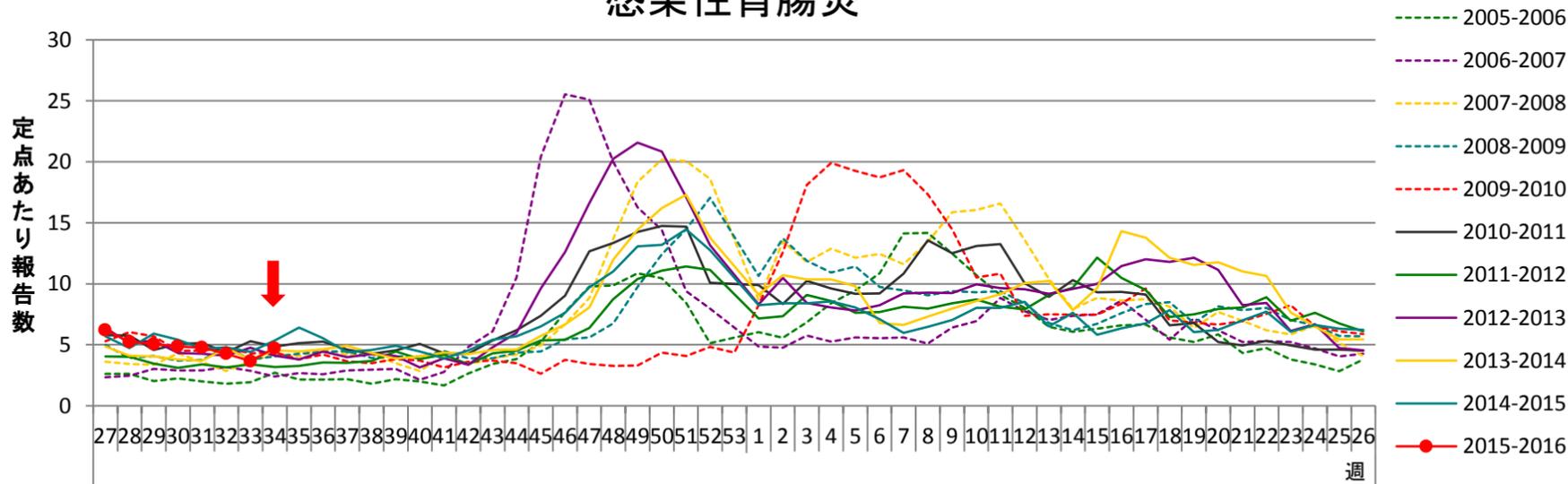
全数把握 感染症患者発生状況

2015年 34週

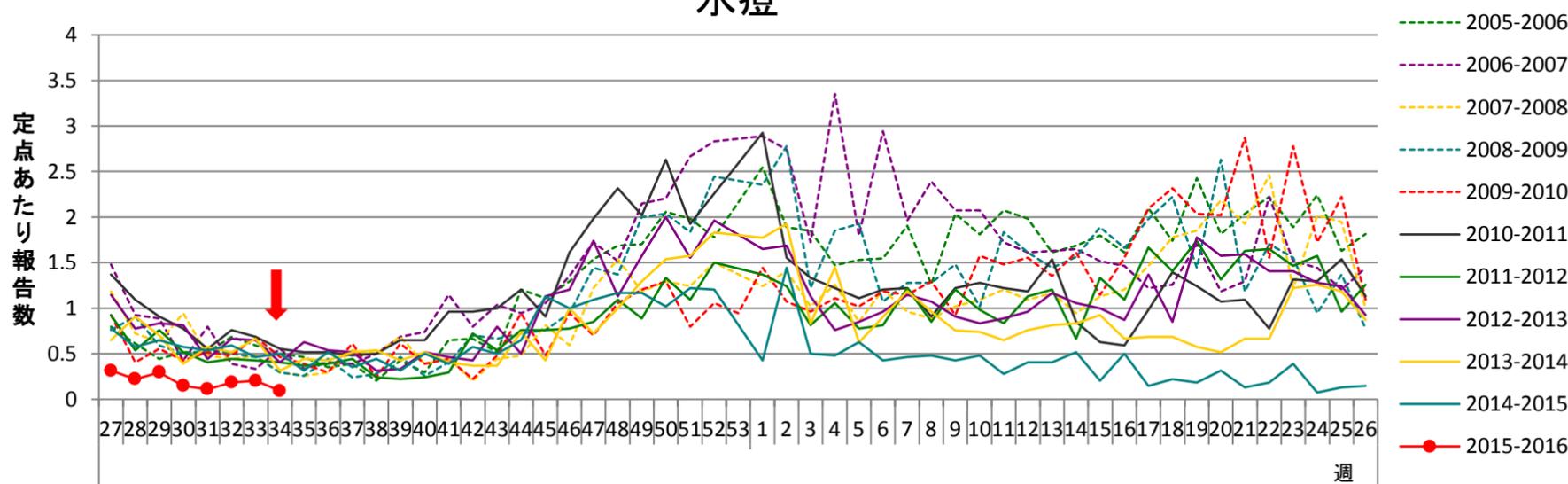
分類	疾病名	2015			疾病名	2015			疾病名	2015		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	2	213	384	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	中東呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9)	-	-	-		-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	1	-	腸管出血性大腸菌感染症	2	34	71
	腸チフス	-	-	-	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	3	2	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	6	8
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	1	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	2	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	4	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	1	-	野兔病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	16	32	レプトスピラ症	-	-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
	五類	アメーバ赤痢	-	13	12	ウイルス性肝炎*3	-	4	7	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染	1	26
急性脳炎*4		-	11	9	クリプトスポリジウム症	-	1	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		-	1	3	後天性免疫不全症候群	-	15	21	ジアルジア症	-	2	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症		-	1	2	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-	侵襲性肺炎球菌感染症	-	22	27
水痘(入院例に限る。)		-	4	6	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	10	21
播種性クリプトコックス症		-	1	1	破傷風	-	-	1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染	-	-	-
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		-	-	2	風しん	-	-	2	麻しん	-	-	6
薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-		-	-	-		-	-	-



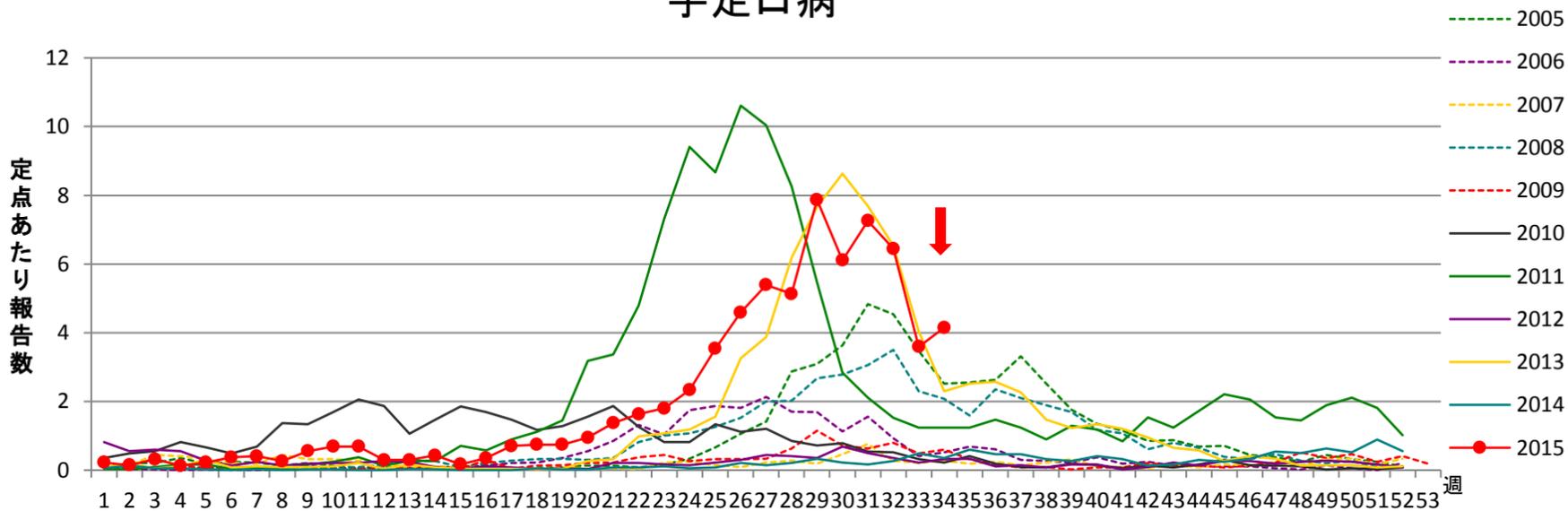
感染性胃腸炎



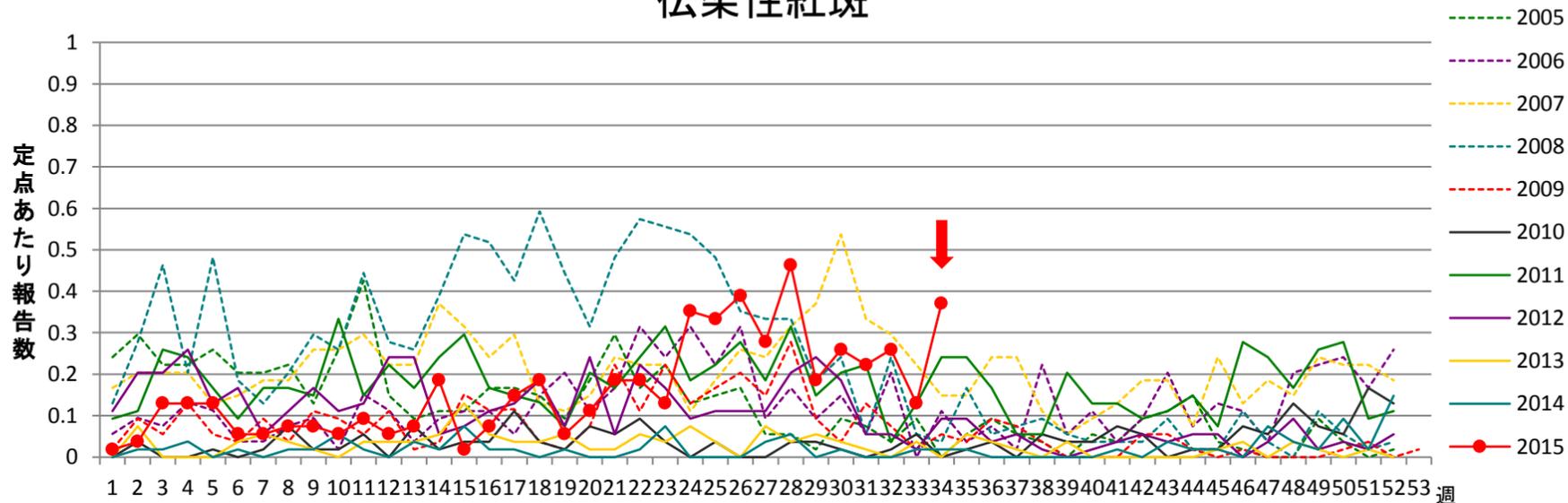
水痘



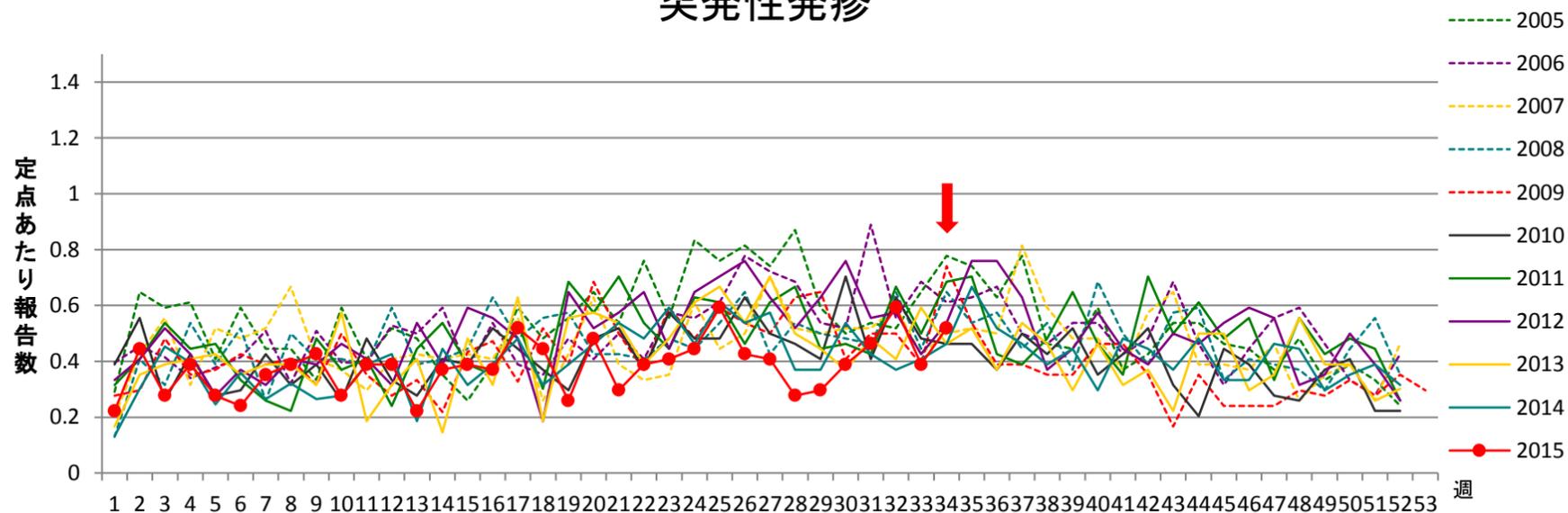
手足口病



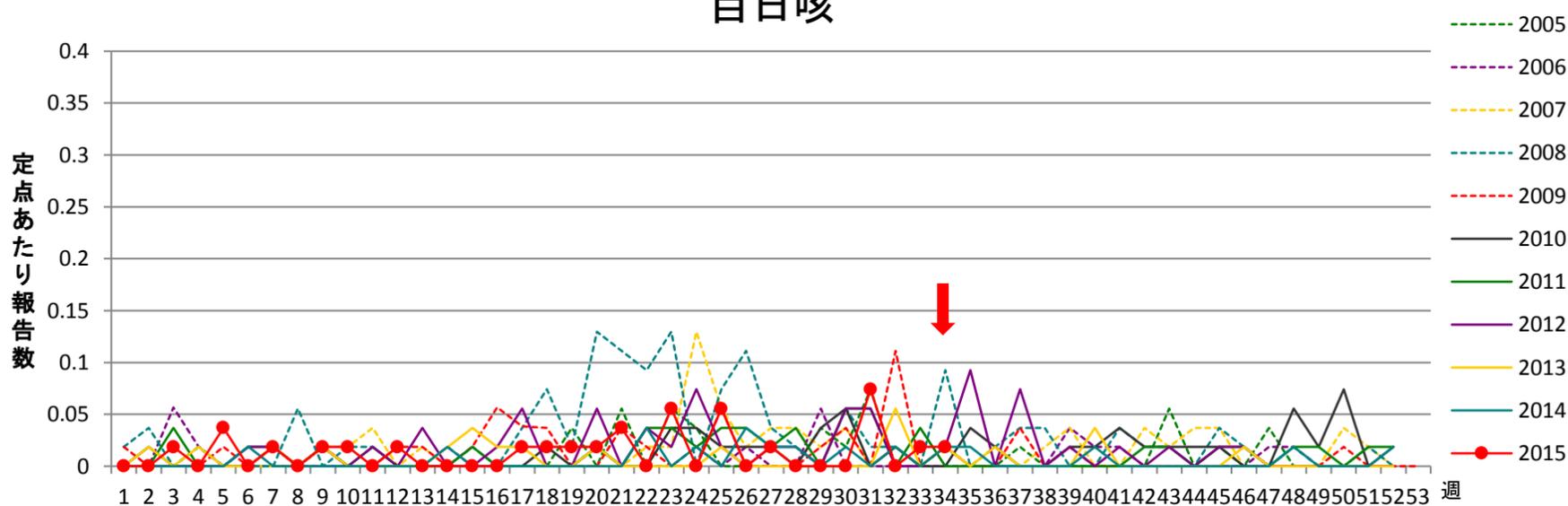
伝染性紅斑



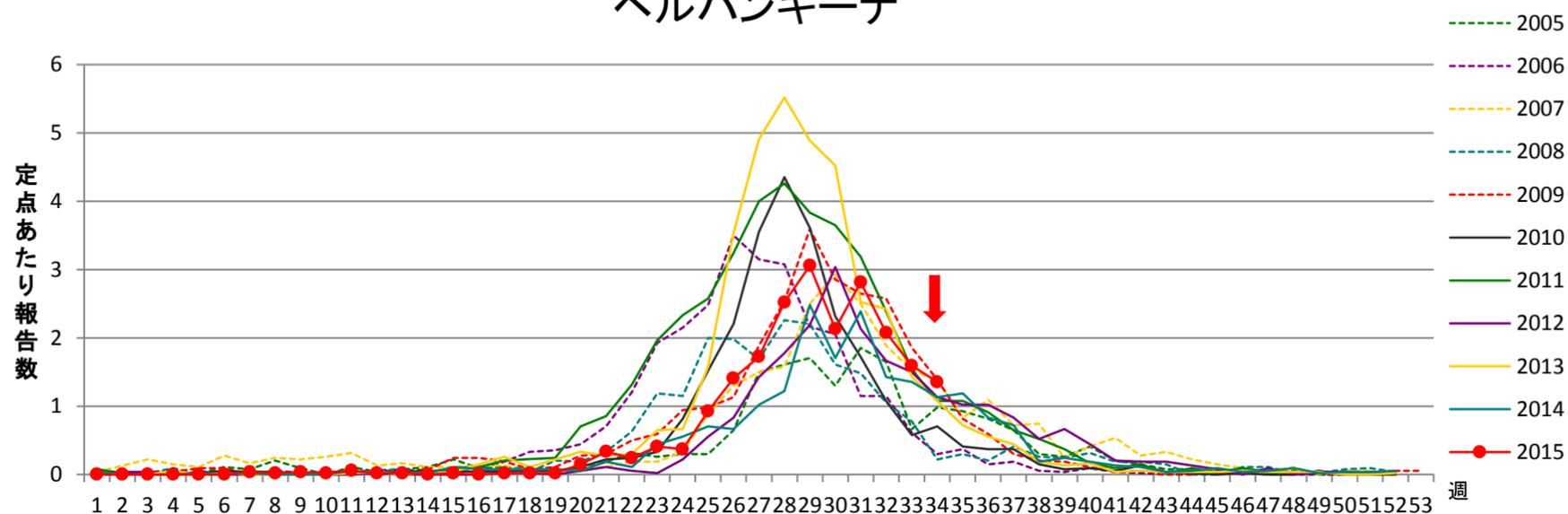
突発性発疹



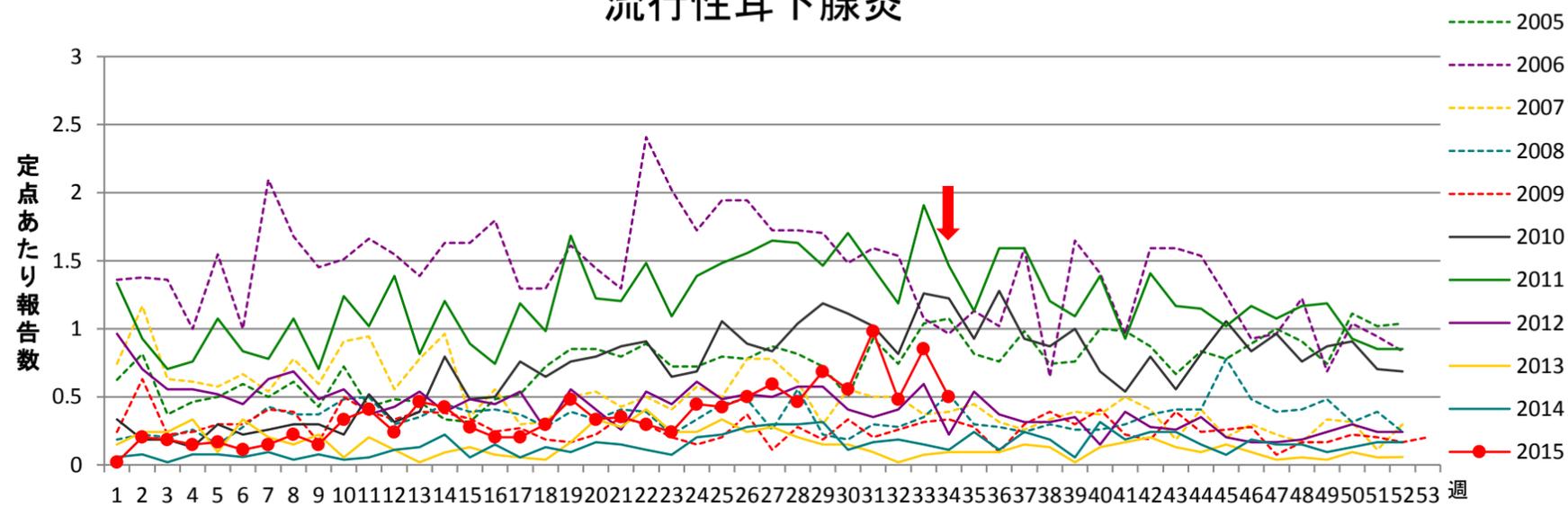
百日咳



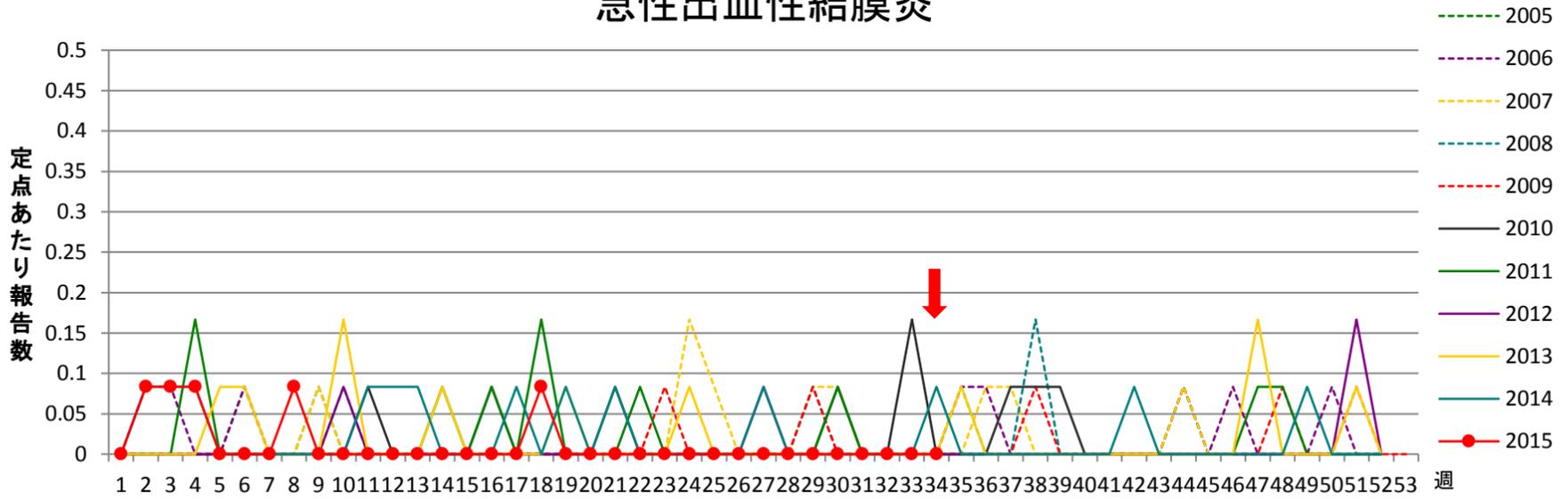
ヘルパンギーナ



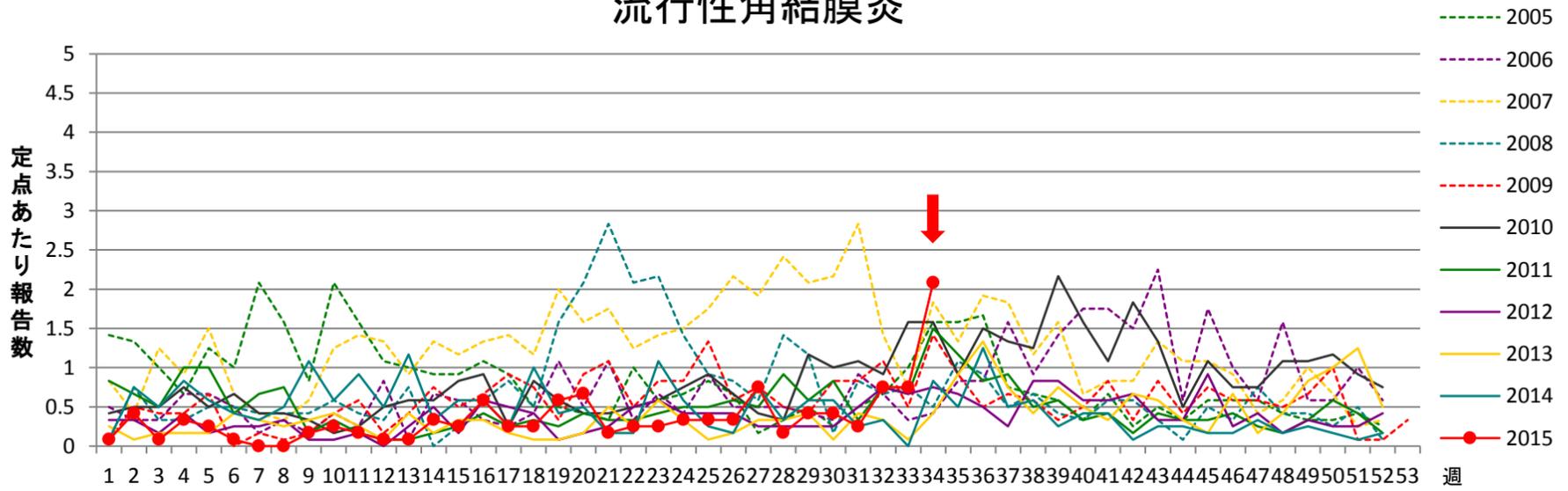
流行性耳下腺炎



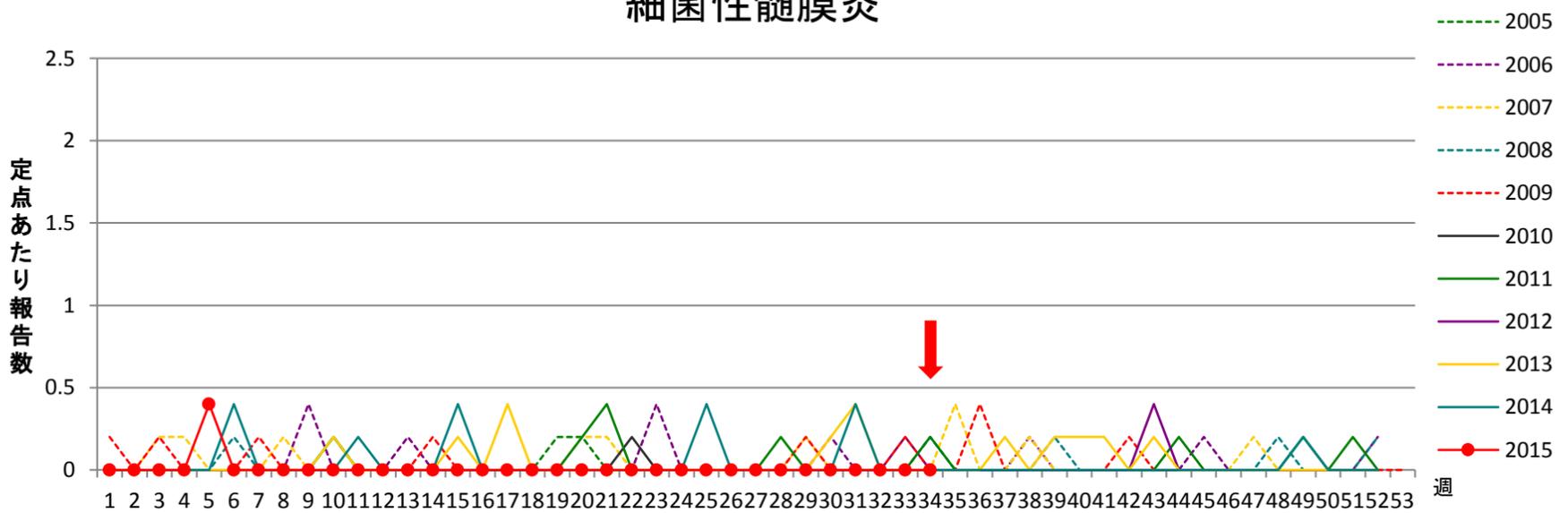
急性出血性結膜炎



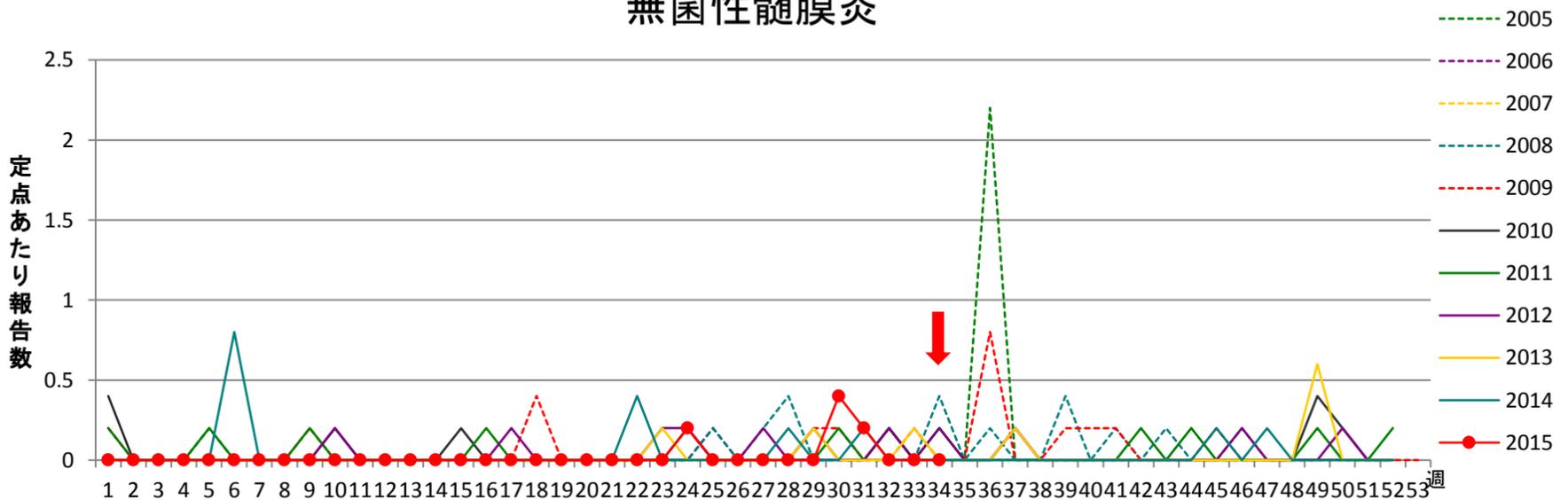
流行性角結膜炎



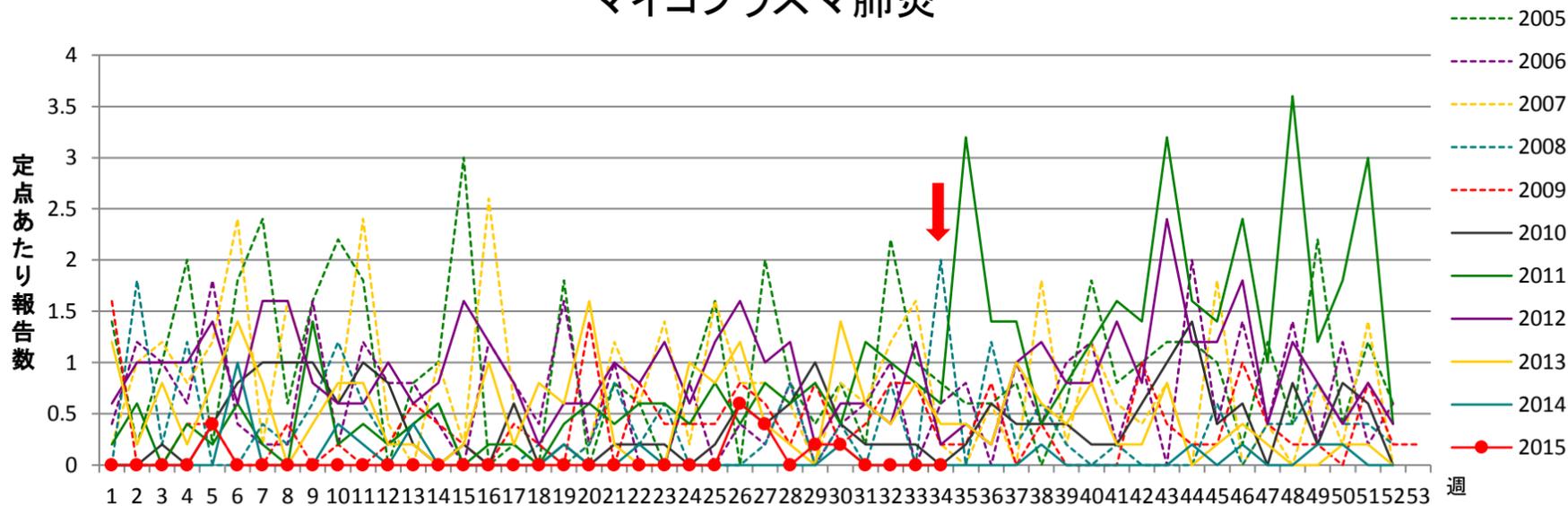
細菌性髄膜炎



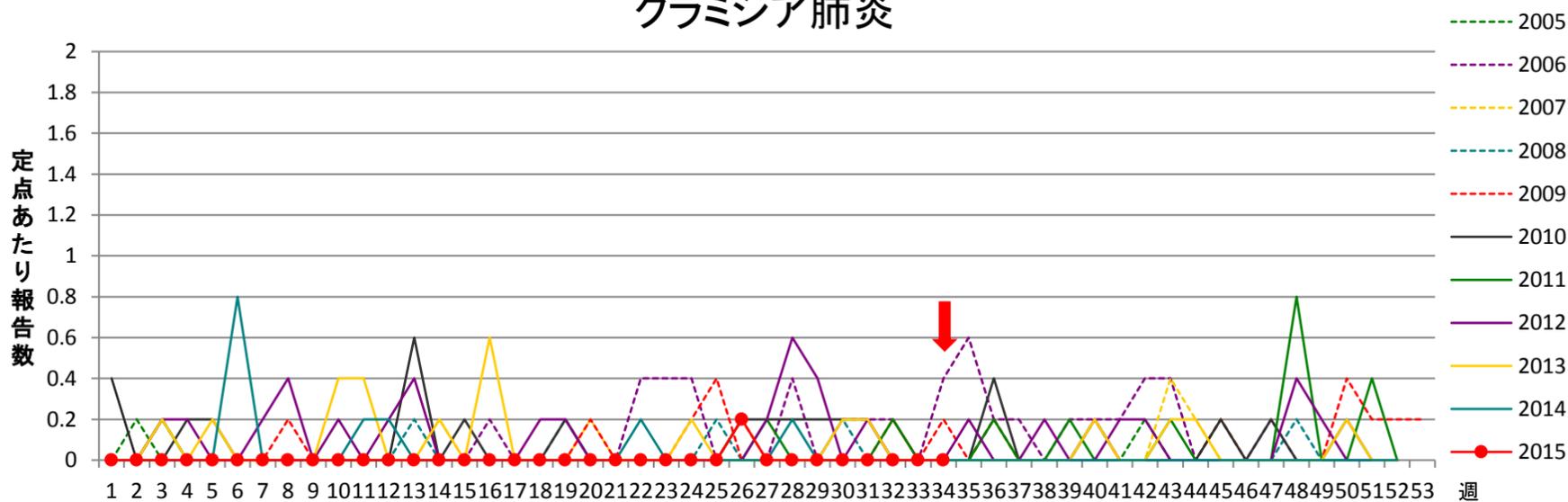
無菌性髄膜炎



マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

